

地域をおこす人々(6) 鯛の養殖に取組んでいる

福田 諭さん (42才)

赤崎、平国を経て海岸線に沿つて車を走らせると、やがて三ヶ島の対岸にある福浦湾に在る福田水産に辿りつく。そこでは二十数名の方々が忙しそうに働いておられ、活気が漲っている。

仕事全体の掌握は福田諭さん夫妻、それに補佐役で弟の福田三繼さんのコンビであたっている。昭和四十年頃からお父さんのおとを受けて、活気が漲っている。

午前十時頃から生簀に養殖されている鯛にエサやりが始まることで、毎日十名の人々が四〇箇の生簀にエサやりに散っていく。現在約四十万尾が養殖されているとのこと。生簀は三ヶ島を眼前に臨む所に据えられ、深さ八メートルある。中食時間だけ休みで、午後五時頃までエサやりが断続的に行われる。先日、エサやりの状況を実際に見せてもらつたが、なかなか大変なものだ。



一日のエサ代も相当多額にのぼるそうだ。エサやりで最も留意する点は如何に効率よく万遍なくエサを与えるかである。

あなたのご先祖様では?

津奈木総庄屋の記録から

載されたもので、貴方のご先祖ではないか、ご位牌を探がしてみて下さい。文化祭で「地名研究会」地の総庄屋から提出された文書「町在」記録(永青文庫)が収められている。この中から津奈木総庄屋の分だけをえらび出してみた。

左記の名前は「町在」文書に記

されたもので、貴方のご先祖で

はないか、ご位牌を探がしてみて下さい。

文化祭で「地名研究会」

地の総庄屋から提出された文書「町

在」記録(永青文庫)が収められ

ている。この中から津奈木総庄屋

の分だけをえらび出してみた。

左記の名前は「町在」文書に記

されたもので、貴方のご先祖で